



## 知っていますか？帯西の校章



左の図は帯西の校章です。「それくらい知っている」という声が聞こえてきそうですが、この校章の由来をご存知でしょうか？この校章は、先ず帯山の「帯」の字をデザイン化したものです。よく見ると「帯」の形に似ていますね。それでは、上に向かって3本の柱は何を意味すると思いますか？これは、3本の「ペン」を表し、知・徳・体の調和と発展を意味しています。それでは、下に向かって3本のペンは何を意味すると思いますか？これは、大地に根をおろし、たくましく生きる姿を表しています。学校の開校は、昭和54年4月ですが、この校章はその年の10月6日に制定されたようです。デザイン考案者は、小嶽友章さん、デザイン修正は、大嶋義則さんが担当されたそうです。校章の意味を知ると、益々愛着が湧いてきますね。

## SNSの功罪

SNSで主なものは、X(ツイッター)や、インスタグラム、フェイスブックなどが挙げられます。私も一念発起して、道德教育関連のインスタグラムを今年から始めてみましたが、やり甲斐も感じつつ、運営の難しさも感じている日々です。

さて、これらのよさは、近くにいない人と繋がり合うことができることです。趣味や嗜好が似ている人同士で仲間をつくれますし、中には辛いときにSNSの中で自分の居場所をつくることのできたという人もいます。

このSNSの世界は、本名よりニックネームを使っている人が多数を占めています。これによって、相手がどこの誰かが分かりにくくしています。それを逆手に取ると、普段は言えない誹謗中傷も発信できてしまいます。Xなどを開くと、ここで文字に起こすこともはばかれるような言葉も飛び交っています。悲しいことに、それによって自ら命を絶った人もたくさんいます。それに社会も応えるかのように、SNSによる誹謗中傷は、訴訟をして名誉毀損など慰謝料を請求できる案件も多くなってきました。

そういう顛末にならないようにするためにも、SNSと共に生きていく子供たちには、「もっとわくわく通信58号」にも書いたように、きちんとした情報モラルを身に付け、相手意識をもった発信者として育成していく必要性を感じています。



## な～るほど！オビニシ雑学①

帯西が開校したのは、昭和54年(1979年)4月でした。しかし、学校自体は帯山小にありました。当時は開校したものの、新校舎は完成しておらず、帯山小の運動場の一角を間借りし、そこにプレハブ校舎を建てていたそうです。その後、昭和55年1月24日に、帯山小の皆さんに盛大に見送られながら、新校舎である現在の帯西の地に全員で歩いて移動してきたそうです。当時の「わくわく」は計り知れませんね。